

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	①安全・安心な生活の確保と警察活動の強化
			施策の小項目名	○治安について著しく不安を与える犯罪等への対応強化
主な取組	暴力団総合対策事業		対応する成果指標	特殊詐欺認知件数
施策の方向	・犯罪発生数は一定数減少しているものの、県民の安心感を更に向上させるために、治安について著しく不安を与える犯罪、社会情勢の変化に伴って多様化する特殊詐欺、サイバー空間の脅威、薬物犯罪、国際テロ等の犯罪への対応強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
暴力団を社会から追放・壊滅し、県民の安全と社会の平穏を確保するため、県民の暴力団排除気運を高め、暴力団犯罪の取締りを徹底する。	県	暴力団排除気運の向上		
		不当要求防止責任者講習回数(累計)		
		20回	20回(40回)	20回(60回)
担当部課【連絡先】	県警本部刑事部組織犯罪対策課【 】		関連URL	—

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	組織犯罪対策費			予算事業名	組織犯罪対策費	
主な財源	実施方法	R3年度決算額	R4年度決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	3,870	4,115	県単等	直接実施	4,791
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		

活動指標名	不当要求防止責任者講習回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		25回	25回	21回	20回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、開催時期や講習人数を慎重に選定し、一部リモートによる講習(4回)を実施するなどして計画値を達成できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 「暴力団排除特別強化地域」における暴排ローラーなど暴力団排除活動を推進し、潜在化する不当要求行為等を摘発し改正暴力団排除条例の県内初適用を図る。 「みかじめ料等縁切り隊」と連携し繁華街における官民合同パトロールを実施するとともに、マスコミを活用した広報啓発活動により県民の更なる暴力団排除気運の醸成に努める。 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、青少年に対する暴力団排除教室、暴排講話を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「暴力団排除特別強化地域」である沖縄市上地において暴排ローラーを実施し、不当要求行為に関する情報収集を実施した。 「宮古島市海浜・海域への暴力団等介入阻止同盟(12団体)」「金武町海浜・海域への暴力団等加入阻止同盟(11団体)」を発足し、広報啓発活動を実施した。 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、青少年に対する暴力団排除教室5回、暴排講話8回を開催した。

3 取組の検証 (Check)

類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	暴力団対策法及び暴力団排除条例の改正による規制強化等に伴い、暴力団の活動実態がより一層不透明化しており、暴力団対策法の適用が困難な状況にある。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	平成2年の第六次暴力団抗争から30年以上が経過し、暴力団排除気運の低下や、旭琉会内部での跡目や役員人事を巡って内部分裂、対立抗争事件の発生が懸念される。

4 取組の改善案 (Action)

類型	内容
② 連携の強化・改善	「みかじめ料等縁切り隊」と連携し繁華街における官民合同パトロールを実施するとともに、マスコミを活用した広報啓発活動により県民の更なる暴力団排除気運の醸成に努める。
⑧ その他	「暴力団排除特別強化地域」における暴排ローラーなどによって得られた情報を元に、不当要求行為等を摘発して改正暴力団排除条例の県内初適用を図り、暴力団排除気運を高める。